

令和3年度
事業報告書

目 次

- 1 事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 障害者支援施設オイコニア・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 グループホーム笑和・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 相談支援事業所わらわ・・・・・・・・・・・・・・・・
- 5 デイサービスセンター緑林荘・・・・・・・・・・・・・・・・
- 6 デイサービスセンターさくら貝・・・・・・・・・・・・・・・・
- 7 居宅介護支援事業所りょくりん・・・・・・・・・・・・・・・・
- 8 職員研修・・・・・・・・・・・・・・・・
- 9 配食サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・
- 10 宿舎運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・

令和3年度 事業総括

新型コロナウイルスの感染者数は2月上旬をピークに緩やかに減少が続いていましたが、3月下旬から全国的には増加傾向に転じ、高知県においても感染者数は高止まりのまま推移しています。

明成会の各事業所とも感染予防マニュアルを整備し常に感染予防対策を徹底するとともに、2回目の新型コロナワクチン接種を6月から、3回目を1月から順次職員、ご利用者が行ってきましたが、緑林荘・オイコニアで新型コロナウイルスの感染者が確認されました。須崎保健所の指導のもとクラスターを起こすことなく感染拡大を防止することはできましたが、緑林荘では利用者の一時的な利用控えがありました。オイコニアでは、高知県の新型コロナウイルス感染症の対応目安レベルに応じた短期入所事業・通所事業の制限や入院者の増加により減収となりました。

今年度は、日常業務において業務改善等による生産性の向上を目的として主に以下の項目に取り組みました。

◇法人研修として今年度は外部講師（エイデル研究所）による「業務の標準化研修」に取り組みました。8月から年間4回、9名のプロジェクトメンバーを選出し、業務標準化の意味・意義を理解した上で職種別の「一日の仕事の流れ」を中心として業務手順書の作成及び見直しを行いました。2月には一般の職員を対象に新手順書について説明会を開催する等すべての職員が業務の標準化の目的を理解し、来年度から”新”手順書に基づいた業務を遂行することができるようになりました。

◇オイコニアでは今年度も高知県介護福祉機器導入支援事業費補助金を活用し、職員の身体的・精神的業務の負担の軽減を図るため、眠りスキャンを20台、タブレット端末8台追加するとともに腰痛予防対策として3モーターベッドを7台入れ替えたことで、全てのベッドを電動ベッドに更新することができました。また、緑林荘でも職員間の情報伝達・情報共有をスムーズに行うため、インカムを6台導入しました。業務のICT化を図り情報共有の効率化に取り組んできました。

◇オイコニアでは業務改善として生活支援員の夜勤業務の勤務時間の見直しを行い効率的な業務と長時間勤務の改善を行いました。年間労働時間数が定められているなか夜間勤務1回分で勤務時間が2時間マイナスとなるため、休日数により調整を行うことになりましたが新たな課題もあり今後改善を図っていくことになりました。また、緑林荘では生活支援員の早出勤務を新しく取り入れたことで業務改善につながりました。一方、令和元年から勤務表自動作成・勤怠管理システムの導入に向け検討してきましたが、運用には課題も多くシステムの導入を見直すこととしました。

□「人材確保・育成・定着」としては、年度当初より職員の補充ができないまま更に退職者や病気休暇等により生活支援員の慢性的な人手不足となりましたが、各関係機関に求人応募、新聞折り込みを行う中、11月・1月に1名ずつ、地元の高等学校の新卒者を1名、来年度の5月から1名確保することができました。しかし、年度末に看護師3名、生活支援員1名が退職することとなり、充足には至っていない状況です。人材の育成と定着化に向け、更に業務改善・人材育成に取り組む必要があります。

□居宅介護支援事業所りょくりんでは4月から介護支援専門員が2名体制に変更しました。四万十町内の他事業所の配置人数の減員によるご利用者の紹介等もあり10月末以降は担当件数枠の9割を超え年度末には2人の担当件数枠がほぼ埋まりました。最近の傾向として、処遇困難ケースなど複雑・多様化する相談が多くなり各関係機関と連携しながら対応するとともに更に専門職としてのスキルアップが求められています。

□地域における公益的な取組を推進するための“明成会地域サポート隊”活動として、六反地駅・施設周辺の草刈り、近隣の宅老所と連携した出前講座を実施する中、地域から求められる声が大きくなり、11月から4か所目となる宅老所訪問と“観光列車おもてなし”とした菜の花活動が増え、益々活動の必要性を感じています。また、地元で仕事を希望している方の人材の確保につながり、地域活動の良さも現れてきました。その一方で今年度から明成会秋まつりを中止することとなりましたが、地域との関わりや交流は広がりを見せています。

□オイコニア建設当初の借入金残金2,540万円（高知銀行）について今年度の収支状況から12月・3月の理事会において審議した結果、3月末に一括返済することになりました。来年度は法人設立30周年を迎え、次期建替えに向け計画的な積立を行う必要があります。また、社会福祉充実残額についても125万円算出されました。

□6月には評議員、役員等の改選となり、評議員選任・解任委員会において再任評議員7名を含む11名が評議員に選任されました。その後、評議員会において、新たに外部理事1名を含めた理事8名と監事2名が選任されました。今回の理事選任により職員理事の割合が約6割に引き下げられ、これまでの改選時の課題を改善することができました。

以上を令和3年度の事業総括とします。

(1) 理事会・評議員会の開催

【 理 事 会 】

第1回 理事会 《令和3年5月31日（木）午後2時00分～午後3時55分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：西村知絵理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和2年度事業報告書の承認について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和2年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りよくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 令和2年度決算関係書類の承認について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和2年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 次期役員（理事・監事）及び顧問について

【提案理由】

定款第15条第1項及び第16条第1項の規定により、評議員会に提案する次期理事・監事について審議。定款第23条第2項により、顧問について審議

第4号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について

【提案理由】

評議員選任・解任委員会運営規定により、外部委員2名、監事1名について審議

第5号議案 評議員選任・解任委員会に推薦する次期評議員候補者について

【提案理由】

定款第6条第3項及による評議員選任候補者の推薦の提案について審議

第6号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第7号議案 社会福祉法人明成会定款細則の施行について

【提案理由】

定款第44条の規定による定款細則の施行について審議

第8号議案 公印管理規程の施行について

【提案理由】

「公印規程」の全般的な見直しにともなう審議

第2回 理事会 《令和3年6月17日（木）午前11時10分～午前11時25分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：矢野敏裕理事＞

(1) 承認及び議決事項

第1号議案 理事長・副理事長・常務理事の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による理事長・副理事長・常務理事の選定

第3回 理事会 《令和3年9月16日（木）午後1時50分～午後3時45分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：大崎和正理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和3年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舍運営事業〕

第2号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「就業規則」

【提案理由】

採用後の提出書類の追加と勤務時間の見直し、ハラスメントに関する規定の見直し等による一部改正

- 「育児・介護休業等に関する規則」

【提案理由】

育児・介護休業法の改正にともなう一部改正

- 「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」施行

【提案理由】

職場におけるハラスメント防止対策が義務付けられたことによる規程の整備

第4回 理事会 《令和3年12月2日（木）午前10時00分～午前11時50分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：山本康雄理事＞

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

- ②上半期の事業報告

(2) 承認及び議決事項

- 第1号議案 令和3年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[職員宿舍運営事業]

- 第2号議案 諸規程の改正にともなう審議

- 「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」施行

【提案理由】

職場におけるハラスメント防止対策が義務付けられたことによる規程の整備

- 第3号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第5回 理事会 《令和4年3月25日（金）午後2時00分～午前4時40分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席／議長：吉岡美保子理事＞

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

(2) 承認及び議決事項

- 第1号議案 令和3年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舎運営事業拠点区分〕

第2号議案 令和4年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和4年度事業計画書の審議

第3号議案 令和4年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和4年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「就業規則」

【提案理由】

退職願の提出日、年間休日数の見直しにともなう一部改正

○「給与規程」

【提案理由】

役職手当・住宅手当の見直し、福祉・介護職員処遇臨時交付金等支給にともなう一部改正

○「嘱託職員就業規則」、「契約職員就業規則」

【提案理由】

住宅手当の見直し、福祉・介護職員処遇臨時交付金等支給にともなう一部改正

○「育児・介護休業等に関する規則」

【提案理由】

育児・介護休業法の改正にともなう一部改正

○「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」

【提案理由】

利用定員の変更にともなう一部改正

第5号議案 役員等賠償責任保険の加入及び内容の審議

【提案理由】

社会福祉法関連規程の改正による役員等賠償責任保険に加入にともなう審議

【 評 議 員 会 】

定時評議員会 ≪令和3年6月17日（水）午前9時00分～午前10時50分≫

評議員：9名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：長谷部恵美評議員

議事録署名人：国元英二評議員、笹岡志乃評議員

（1）報告事項

- 1 令和2年度 第3次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和2年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 令和3年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 令和3年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和2年度 決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

<令和2年度 決算関係書類>

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 次期役員（理事・監事）の選任及び顧問について

【提案理由】

定款第10条第1項第1号の規定による次期理事及び監事の選任

定款第23条第2項の規定による顧問について審議

第2回評議員会 ≪令和3年12月23日（木）午後2時00分～午後3時10分≫

評議員：11名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：国元英二評議員

議事録署名人：中嶋敏親評議員、三宮佳子評議員

報告事項

- 1 令和3年度第1次・2次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和3年度 上半期事業報告
- 3 令和3年度 予算執行状況

(2) 役職員の研修等に関する事業

〔障害者支援施設オイコニア〕

- 4月28日(水) 高知県経営青年会理事会(高知市/矢野)
- 5月17日(月) 高知県災害派遣福祉チーム研修企画会(高知市/大崎)
- 24日(月) 高知県経営協理事会・総会及び研修会(高知市/大崎)
- 高知県経営青年会総会(高知市/矢野)
- 6月23日(水) 社会福祉会計簿記講座(入門)(高知市/坂本)
- 7月9日(金) 高知県災害派遣福祉チーム令和3年度研修企画会(高知市/大崎)
- 14日(水) 社会福祉会計簿記講座(初級)(高知市/坂本) 15日まで
- 15日(木) 高知県高齢者、障害者虐待防止・権利擁護研修(オンライン/岡村・大崎)
- 8月8日(日) 高知県介護職員等喀痰吸引等研修事業指導者講習(高知市/窪田)
- 9月13日(月) 社会保険制度「事務講習会」(四万十市/坂本)
- 15日(水) 福祉職場の中堅職員ファーストステップ研修(高知市/中山)
- 9月24日(金) 高知県社協 新任職員研修ステップ1(オンライン/下元)
- 27日(月) 高知県介護職員等喀痰吸引等研修(基本研修)全8日間(高知市/武政)
- 10月14日(木) 高知県若い世代の福祉・介護人材確保・育成検討会(高知市/大崎)
- 17日(日) 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー(四万十町/岡村・大崎・矢野)
- 27日(水) 高知県相談支援従事者初任者研修(全5日間)(高知市/中平)
- 29日(金) 高知県社協 中堅職員ステップアップ研修(高知市/中城)
- 11月13日(土) 臨床実習指導者連絡協議会(オンライン/中野)
- 17日(水) 高知県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修(高知市/大崎)
- 18日(木) 平成福祉専門学校介護福祉実習施設打合せ会(オンライン/武政)
- 12月22日(水) 障害者支援施設ステージ桜が丘見学(安芸市/岡村・矢野・大崎・吉岡)
- 1月11日(火) 新任職員研修ステップ2(高知市/下元)
- 26日(水) 高知県若い世代の福祉・介護人材確保育成検討会(高知市/大崎)
- 2月1日(火) ICT利活用研修(オンライン/土居)
- 3月8日(火) 高知県経営協セミナー(オンライン/岡村・矢野)

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- 4月28日(水) 高幡相談支援連絡会(中土佐町/豊田・山崎)
- 7月20日(火) アウトリーチ運営推進会議(須崎市/豊田・山崎)
- 8月5日(木) 精神保健ネットワーク会(四万十町/豊田・山崎)
- 8月17日(火) アウトリーチ運営推進会議(須崎市/豊田・山崎)
- 9月21日(火) アウトリーチ運営推進会議(オンライン/豊田・山崎)
- 10月15日(金) DWA Tスキルアップ研修(高知市/山崎)
- 10月19日(火) アウトリーチ運営推進会議(オンライン/豊田・山崎)
- 11月16日(火) アウトリーチ運営推進会議(オンライン/豊田・嶋)
- 11月17日(水) 引きこもり支援検討会(四万十町/豊田・嶋)
- 19日(金) DWA T養成研修(高知市/豊田)

- 1 1月24日(水) 社会福祉大会(オンライン/豊田・嶋)
- 1 2月 6日(月) 精神保健ネットワーク会(四万十町/嶋)
- 7日(火) } 医療的ケア児コーディネーター養成研修(高知市/嶋)
- 8日(水) }
- 1 2月21日(火) アウトリーチ運営推進会議(オンライン/豊田・嶋)
- 1 1月12日(水) 相談支援専門員現任研修(高知市/嶋)
- 1 1月18日(火) アウトリーチ運営推進会議(オンライン/豊田・山崎)
- 1 1月27日(木) } 医療的ケア児コーディネーター養成研修(オンライン/嶋)
- 28日(金) }
- 2 月 7日(月) 相談支援専門員現任研修(オンライン/嶋)
- 28日(月) 相談支援専門員現任研修(オンライン/嶋)
- 3 月26日(土) 地域移行・地域定着支援関係者研修(オンライン/嶋)
- 3 月28日(月) 相談支援専門員現任研修(オンライン/嶋)

〔デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん〕

- 6 月23日(水) 四万十町第1回ケアマネ連絡会(四万十町/北川・津野)
- 25日(金) 四万十町介護保険事業所集団指導(四万十町/西村・北川)
- 7 月 6日(火) 安全運転管理者講習(四万十町/西村)
- 19日(月) 認知症介護基礎研修(須崎市/中山)
- 29日(木) 四万十町第2回ケアマネ連絡会(四万十町/北川・津野)
- 31日(土) 高知県介護支援専門員更新(専門)研修(全4日間)(高知市/津野)
- 8 月11日(水) 高幡ブロック総会及び第1回研修会(中土佐町/北川・津野)
- 9 月21日(火) 四万十町第3回ケアマネ連絡会(四万十町/北川・津野)
- 1 1月 8日(月) 高幡市町在宅医療・介護連携合同研修会(四万十町/北川)
- 30日(火) 四万十町他職種連携研修会(四万十町/北川・橋本・津野・黒岩)
- 1 2月22日(水) 障害者支援施設ステージ桜が丘見学(安芸市/西村)
- 3 月 5日(土) 日本ケアマネジメント学会in高知大会(高知市/北川)

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 6 月25日(金) 四万十町介護保険事業所集団指導(四万十町/岩崎)
- 1 0月 3日(日) 介護支援専門員再研修(全9日間)(高知市/岩崎)

(3) 施設・設備整備等の事業

今年度の施設・設備整備事業は、次のとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載>

[オイコニア]

[備品]

・パソコン（3台入替）	745,800円	<四国電話工業(株)>
・カフェテリアユニット台（冷蔵）	1,155,000円	<(株)フジマック>
・眠りスキャン用大型モニター	134,970円	<井上住電設備>
・拡声器スピーカー	144,100円	<陽和産業(株)>
・サーバ（一式）	769,670円	<四国電話工業(株)>
・眠りスキャン（20台）	2,098,800円	<ワタキューセイモア(株)>
・低床3モーターベッド（7台）	862,400円	<ワタキューセイモア(株)>
・タブレット（iPad mini）（8台）	1,051,600円	<陽和産業(株)>
・出入口自動ドア設置工事	1,595,000円	<小松建設(株)>

[ソフトウェア]

・NDソフト（障がい福祉）使用権更新	1,992,100円	<陽和産業(株)>
--------------------	------------	-----------

[修繕他]

・自家発電設備蓄電池交換	371,800円	<(財)四国電気保安協会>
・ボイラ保守点検契約	104,500円	<(株)巴商会>
・電解水生成装置6年リース（3台）	毎月35,400円	<ホシザキ四国(株)>
・給水タンク清掃消毒作業	132,000円	<三栄工業(株)>
・防火設備の定期報告者作成費	181,500円	<小松建設(株)>
・受水槽外部塗替え工事	560,000円	<小松建設(株)>

[笑 和]

[修繕他]

・テラスの屋根設置	170,500円	<高知トヨー住器(株)>
-----------	----------	--------------

[わ ら わ]

[備品]

・パソコン（入替）	144,650円	<陽和産業(株)>
-----------	----------	-----------

[緑 林 荘]

[備品]

・食器洗浄機（入替）	643,500円	<ホシザキ四国(株)>
・アコーディオンカーテン	140,712円	<(有)ウエハラ>
・インカム6台（一式）	221,760円	<四国電話工業(株)>
・車椅子用体重計	245,850円	<(有)ウエハラ>

[修繕他]

- ・ボイラ保守点検契約 123,200 円 <(株)巴商会>
- ・エアコンのリモコン修理 (2台) 162,800 円 <是信電設(株)>

[りょくりん]

[ソフトウェア]

- ・ケアマネソフトライセンス 121,000 円 <陽和産業(株)>

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい自立した生活を送ってもらうために、良質かつ安心、安全なサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、各ライフサポート委員会でサービス内容の見直し、改善をはかり、ご利用者の生活の充実にむけた活動を実施している。日中活動支援プログラムでは今年度より JR 四国の「観光列車」へのおもてなし活動に参加している。列車が通る時刻に線路前の庭に移動し手作りの装飾や仮装等で旗振りを行っている。列車から笑顔で手を振り返してくれる乗客の姿を通して、おもてなす事の喜びや自身の役割を実感し、ご利用者にもはつらつとした笑顔が見られている。また、コロナ禍で外出行事が減っていることから、施設の中で季節を味わおうと日中活動委員会の計画をもとに、ご利用者とともに創意工夫し、春夏秋冬だけでなく季節折々の行事にあった壁画や装飾作りで施設内を彩り楽しむことができた。

居住支援事業の施設入所支援については業務見直し、ノーリフト、安全対策委員を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。また、昨年度より導入しているインカム・眠りスキヤンの活用で業務の効率化の成果もでてきている。

入所の利用状況については、今年度3名の入退所があり50名満床である。現在、薬の調整等の長期入院の方は退院となり、発熱や脱水のため3名の方が入院中である。今後も終末期ケアとなっている方や基礎疾患の重症化、肺炎リスクを常に抱えているご利用者が数名いることから状態観察・早期受診の対応を徹底し施設生活を継続できるよう努めていく。

短期入所については高知県の発表する新型コロナウイルス感染症対応目安に合わせ事業休止をしていた期間もあったが、9月より受け入れ時の感染症対策を強化しながら事業を再開、10月より90%台の稼働率を継続でき順調に回復することができた。通所においては事業休止期間の実施と新規利用者の開拓に苦戦しており、昨年度より低い利用率32%と厳しい状況が続いている。

新型コロナウイルス感染症対策として、職員のマスク着用、出勤前の検温等の実施、面会等施設内立ち入り制限や、施設の行事や外出支援の中止等を行っていたが、3月にご利用者1名と職員1名の感染者を確認することとなった。幸い、感染拡大には至らず、感染者2名も「軽度」の診断を受けたが、ご利用者1名は発熱が続いている状態で現在も入院中である。

希望する方の3回目の新型コロナウイルスワクチンも済ませたこともあり、対応目安の変更に合わせ、外食を伴わない外出や買い物や玄関での家族との面会等、対策を見直しながら制限ある日常生活に変化とリフレッシュを持つことができた。しかし、県内の感染状況は減少しておらず、今後も感染対策の徹底、職員への注意喚起等、継続していく。

1. 日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。2月には各委員会が年間の活動報告をまとめ事例研究発表を行うことで、全職員が委員会活動の理解を行った。

1-①相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

1-②個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

1-③ライフサポート委員会

ご利用者のより安心・安全で快適な生活が送れるようライフサポート委員会が定期的な会議を開催し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。また、各委員会のリーダーが集まり情報交換を行うことで、委員会同士の連携を図った。

1-④懇親会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

1-⑤苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症に対して第三者委員の方も考慮し訪問はなかった。ただし、ご利用者から訴えがあれば第三者委員へも報告できるように体制は整えた。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和4年3月31日現在

	南国市	高知市	四万十市	宿毛市	土佐町	津野町	佐川町	日高村	越知町	梶原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	合計
男性	1	—	2	2	1	1	1	—	1	1	5	13	2	2	32
女性	—	3	1	—	—	—	1	1	—	1	—	10	1	—	18
計	1	3	3	2	1	1	2	1	1	2	5	23	3	2	50

2. 障害別一覧表

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	3	10
筋ジストロフィー	1	1	2
脊髄損傷	8	—	8
脳疾患による後遺症	6	5	11
頭部外傷後遺症	3	—	3
痙性麻痺	—	2	2
水頭症	1	—	1
パーキンソン病	1	—	1
ダウン症	1	1	2
知的障害	2	—	2
自閉症	1	1	2
その他	1	5	6
合計	32	18	50

3. 障害・療育手帳別一覧表

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	23	11	24
第1種2級	2	3	5
第1種3級	1	—	1
第2種2級	1	—	1
第2種3級	1	—	1
療育A1	3	—	3

療育A2	—	2	2
手帳なし	1	2	3
合計	32	18	50

4. 年齢別一覧表

年齢	男性	女性	合計
20歳～29歳	0	1	1
30歳～39歳	4	2	6
40歳～49歳	3	1	4
50歳～59歳	7	3	10
60歳～69歳	10	5	15
70歳～79歳	7	4	11
80歳 以上	1	2	3
合計	32	18	50

5. 平均年齢

令和4年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	32歳7ヶ月	81歳0ヶ月	59歳8ヶ月	60歳0か月
女性	24歳2ヶ月	91歳9ヶ月	60歳6ヵ月	

6. 食費等徴収額

令和4年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	6	17	47,700	1
2	21,780	1	18	47,760	2
3	23,040	1	19	47,850	2
4	34,200	1	20	47,880	2
5	36,600	1	21	47,910	1
6	39,210	1	22	47,940	1
7	39,240	1	23	48,240	1
8	39,870	1	24	48,510	1
9	42,750	1	25	49,050	1
10	42,840	1	26	49,620	1
11	44,640	1	27	50,250	1
12	45,210	1	28	50,760	1
13	45,420	4	29	51,960	1

14	45,450	2	30	53,310	7
15	45,870	1	合 計		50
16	47,410	1			

7. 上限月額徴収額

令和4年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	50
合 計		50

8. 障害程度区分

令和4年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	—	1	1
4	5	1	6
5	7	5	12
6	20	11	31
合 計	32	18	50

平均障害程度区分 5.5

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
退 所	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
在籍者数	34	16	33	16	33	17	32	18	32	18	32	18	32	18

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	3	3
退 所	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	1	3
在籍者数	32	18	32	18	32	17	32	18	32	18			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1,447日	24日	29日	53日
5月	1,462日	7日	65日	72日
6月	1,470日	－日	30日	30日
7月	1,481日	－日	49日	49日
8月	1,523日	－日	27日	27日
9月	1,431日	－日	69日	69日
10月	1,455日	－日	95日	95日
11月	1,396日	2日	102日	104日
12月	1,399日	3日	148日	151日
1月	1,458日	7日	84日	91日
2月	1,337日	－日	59日	59日
3月	1,484日	－日	66日	66日
合計	17,343日	43日	823日	866日

前年度延べ日数 17,812日

11. 金銭管理状況（令和4年3月31日現在）

	男性	女性	計
全て自己管理	3	2	5
一部自己管理	4	6	10
全て施設管理	17	7	24
家族が管理	5	2	7
成年後見人	3	1	4
計	32	18	50

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	37日	5人	11月	47日	6人
5月	33日	5人	12月	43日	5人
6月	10日	1人	1月	51日	5人
7月	－日	－人	2月	24日	4人
8月	16日	3人	3月	19日	5人
9月	29日	4人			
10月	37日	4人	合 計	346日	47人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 455日

2. 障害程度区分

令和4年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	3	1	4
4	－	－	－
5	－	－	－
6	1	－	1
合 計	4	1	5

平均障害程度区分 3.6

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	6人	47日	11月	13人	83日
5月	2人	28日	12月	13人	86日
6月	1人	14日	1月	12人	86日
7月	一人	一日	2月	10人	76日
8月	1人	5日	3月	12人	86日
9月	9人	67日			
10月	9人	87日	合 計	88人	665日

※支給決定市町村：高知市・土佐市・須崎市・佐川町・黒潮町
越知町・津野町・中土佐町・仁淀川町
四万十町

前年度延べ日数 823日

2. 障害支援区分

令和4年3月31日現在

(障害児)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	—
2	—	—	—
3	—	1	1
合 計	—	1	1

平均障害程度区分 3.0

(障害者)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	—
2	—	—	—
3	4	—	4
4	2	1	3
5	3	—	3
6	3	2	5
合 計	12	3	15

平均障害程度区分 4.6

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
令和3年4月2日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。
令和3年5月25日 令和3年11月5日 令和4年2月19日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらおう。
令和3年7月16日	夏祭り	屋内	1回	ご利用者・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
令和3年12月17日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和4年1月21日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供するとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の警戒以上（9/1以降は特別警戒以上）になった場合は中止していた。なお、外出時には、アルコール消毒やマスク着用をし、感染予防を徹底した。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、月曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。

(園内喫茶)

毎週木曜日に「由菜の里」の出張喫茶を開店した。これまでは、毎回、由菜の里のスタッフで対応を行っていたが、毎回は厳しくなったとのことであり、隔週でオイコニアの職員対応でケーキとコーヒーを行った。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の特別警戒以上になった場合は、毎回職員対応でケーキと飲み物の販売を行った。

(整容)

月1回外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

2. 外出行事

実施日	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
8月	ドライブ（町内）2回	6人	1月	初詣（岩本寺）	4人
10月	ショッピング（イオン高知）2回	8人		ドライブ（中土佐町）	4人
	魚釣り（中土佐町）	2人	3月	お花見ドライブ（中土佐町）	7名
11月	外食（テイクアウト）	5人			

※外出行事年回合計9回実施

<外出について>

令和4年3月31日現在

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	5	5	10
自己決定で付き添って外出している	22	10	32
外出について意思表示が困難	5	3	8
計	32	18	50

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

(1) 防災訓練

実施日	参加者	内 容
5月26日	入所者：42名 通所者：一名 短期：1名 職員：17名 計60名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
6月16日	職員：21名	新型コロナウイルス感染者が発生したことを想定して避難スペースに感染者を移動させる訓練を行う。
6月24日	入所者：41名 通所者：一名 短期：一名 職員：14名 計55名	昼間に地震が発生し、厨房より火災発生が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う。
11月26日	入所者：41名 通所者：一名 短期：2名 職員：15名 計58名	厨房を火元に昼間の火災発生を想定し、通報・消火・避難を行う。
1月27日	入所者：45名 通所者：2名 短期：2名 職員：15名 計64名	夜間の地震を想定し、避難を行う。
3月21日	入所者：40名 通所者：3名 短期：2名 職員：12名 計57名	夜間に地震が発生し、せせらぎ汚物処理室より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う

4 委員会活動

	名 称	開催日	内 容
ライフサポート委員会	日中活動委員会	4月15日	日常生活がより豊かで楽しい時間となるよう、日中活動や行事についての検討及び「観光列車」のおもてなし活動や季節ごとの創作活動の実施。
	安全対策委員会	4月21日	ご利用者の安全確保に対する職員の意識向上のため、事故報告をもとに再発防止に向けた取り組みの実施及び福祉車両の取り扱いについての説明。
		6月23日	
		8月19日	
生活向上委員会	4月19日	ご利用者に安心感を与えられるケアの提供を目指し、体位変換及びポジショニングのチェック表作成、実施。	
ICT活用委員会	4月2日 6月28日 8月30日	眠りスキャンの追加導入による、効率の良い活用方法の検討、実施。	

	日常業務改善委員会	4月19日 5月12日 6月15日 6月28日 8月30日 3月24日	業務内での無駄の時間を省くため、支援内容の改善及びICT活用委員会と連携したICT機器による業務効率化の検討、実施。
	環境整備委員会	8月25日	環境美化を目指し、鳥よけ及び各棟のトイレと洗面所へ台座設置、日曜日の掃除の実施。
	マニュアル委員会	4月 5日 5月 7日 5月29日	業務の統一化のため食事と入浴の介助マニュアル作成、職員への周知徹底。
その他	権利擁護虐待防止委員会	4月 8日 8月31日 2月 8日	職員の虐待防止への意識を高めるためのチェックリスト実施及び身体拘束の事案についての検討、差別や虐待等の防止に向けた啓発ポスター掲示。
	感染症対策委員会	5月19日 7月21日 11月10日	新型コロナウイルス感染症等の感染対策のマニュアル見直し及び洗面道具の定期的な洗浄実施。
	危機管理・防災対策委員会	5月25日 6月16日 7月 8日 8月31日 10月28日 2月15日	新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画の作成及び福祉避難所の追加物品検討、安否確認システムメール送信等の実施。

食生活支援の状況

今年度も3食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。長引く新型コロナウイルス感染症対策により、様々な行事の縮小や中止等制限ある生活が続いている。そんな中、‘楽しみ’や‘生活の潤い’が持てるよう多職種と連携をはかり、代替えとなる食事イベントやテイクアウト行事を企画し、ご利用者に喜んでいただける食事支援を行った。また食堂内のテーブルにパーテーションの設置と人数制限を実施して感染症対策を強化した。行事食についても個人膳での提供としご利用者同士が密にならないよう配慮した。

給食食材管理においては、多くの食材が間断的に高騰していく中、月間給食材管理を細やかに行いおおむね予算内で納めることができた。来年度も食材の高騰が継続していく事が予測されるため綿密な予算管理を行っていく必要がある。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常のご利用者とのコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

委託業者に対しては引き続き、食品の取り扱いや職員の体調管理、感染予防について徹底するよう依頼している。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 5月 さわやかな季節を感じてもらおう

11月 秋のうまいもん祭り

3月 中華フェア

・イベント食

タコ焼きパーティー・パンバイキング・四万十町ラーメンお取り寄せ

ほっかほっか亭弁当

・今年度の主な行事食

4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当

7月 夏まつり

12月 クリスマス年忘れ会（個人膳・寿司・焼肉・クリスマスケーキなど）

1月 おせち料理・新年会（個人膳・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。リハビリ内容は身体機能面のみに目を向けるのではなく、各個人にとって価値のある活動を展開し、各疾患の特性に応じた幅広い活動を提供した。車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。また、精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた、アプローチや環境設定を実施した。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

集団生活を送る上で他ご利用者とトラブルとなることが多いご利用者に対して、トラブルを予防し集団という社会の中でその人らしく暮らしていくことを目的に、視覚的に指示が分かりやすいような環境設定をしたり、行動のルーティーンを置き換えるための方法を検討する等のアプローチを行った。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。集団作業療法では、難易度や活動内容を工夫しながら、幅広い年齢、疾患に対応できるような活動を実施した。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入する際のことなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者48名、通所者4名、短期入所者3名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能

な方は週1～4回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計1～27名、平均9.67名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら今年も取り組みを行ったが、今年度は、持病悪化にて2名のご利用者が死亡された。定期的な病院受診は、コロナ禍にて電話診療が多かった。又、入院は精神科、内科で長期間される方がおり、前年度より入院日数は増えている。引き続き体調の変化、早期発見に努め、施設で健康に過ごしてもらえよう支援を行う。

新型コロナウイルス感染症が続く中、感染対策や外出制限等、感染状況に合わせて行ってきたが、ご利用者1名の感染者がでた。職員全員及び濃厚接触者となるご利用者が検査を行った結果、職員1名感染していた。2人とも症状が見られず、感染経路もわからない状態であった。引き続き感染対策に努める。

また、嘱託医としてオイコニア開設時よりご利用者の診療をしていただいた武田丘医師が3月末をもって退任することになり、来年度から医療法人窪川高橋会に変更となる。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血） 職員・ご利用者（65歳以上）新型コロナワクチン（2回目）
6～9月	食中毒の予防
7月	職員・ご利用者（65歳以下）新型コロナワクチン（2回目）
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
10月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
10月	ご利用者季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
11月	職員健康診断の実施（検尿・採血）
11～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
1月	職員・ご利用者（65歳以上）新型コロナワクチン（3回目）
2月	職員・ご利用者（65歳以下）新型コロナワクチン（3回目）
3月	職員・ご利用者新型コロナワクチン（3回目）
4～3月	コロナウイルス感染症予防 歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回/月の指導 嘱託医師にて2回/週（水・土）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	35人	42回	外 科	4人	11回
内 科	8人	10回	脳神経外科	3人	8回
泌尿器科	8人	18回	神経内科	5人	22回
整形外科	3人	10回	精神科	6人	40回
皮膚科	4人	5回	眼 科	4人	8回
消化器内科	2人	3回	麻 酔 科	1人	5回
耳 鼻 科	2人	2回	胃 瘻 交 換	4人	7回
乳腺外来科	1人	2回	合 計	90人	193回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
泌尿器科	2人	2人	53日
内 科	8人	12人	357日
外 科	3人	3人	108日
皮膚科	1人	1人	5日
整形外科	1人	1人	62日
脳神経内科	3人	4人	45日
精神科	2人	3人	193日
合 計	20人	26人	823日

4. 特別な医療行為者数

令和4年3月31日現在

区 分	人 数	
気管切開の処置	1人	
経管栄養	経 鼻	1人
	胃ろう	4人
バルンカテーテル	10人	
合計（重複者あり）	16人	

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図り、ご利用者の希望に沿ったサービス提供に努めるとともに、体調を大きく崩すことがないよう表情や行動等を常に観察し、個々の状態把握に努めた。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように心がけた。

昨年末ごろよりアパートでの一人暮らしを希望されていた男性ご利用者が4月30日付で退所となるも、四万十町内の企業に就職内定をもらった女性の方から入所希望があったため、急遽居室変更を行い、5月20日より体験利用を開始し、6月1日付でグループホーム利用の支給決定がされ正式入所となったことで、男性4名、女性5名の計9名の満床となる。また、町内の作業所に通っていた男性ご利用者が7月1日付で四万十町内の企業に採用されたことで、一般就労者が3名となる。

ご利用者については、精神面からくる体調不良や、他ご利用者の言動に対する苛立ち等の訴えあるも日々の状態に合わせ支援を行ったことで安定した生活を送ることができている。

環境整備として、4月末にテラスへ屋根を設置する工事を行った。受動喫煙対策が図れ、より快適で安心した生活の確保が図れた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、職員は勤務前の検温やマスクの着用、施設内の換気、消毒といった対策、ご利用者には共用スペースでのマスクの着用や黙食、外泊の中止等を依頼し、感染対策を実施した。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容

	行事名
4月	誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）
5月	誕生日会、クッキング、避難訓練（昼間地震想定）
6月	避難訓練（夜間風水害想定）
7月	ショッピング（帯屋町）、避難訓練（夜間火災想定）
8月	避難訓練（夜間地震想定）
9月	避難訓練（昼間風水害想定）
10月	誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）
11月	誕生日会、避難訓練（昼間地震想定）

1 2 月	ショッピング（イオン高知）、避難訓練（夜間風水想定害）
1 月	初詣、誕生日会、クッキング、避難訓練（夜間火災想定）
2 月	誕生日会、避難訓練（夜間風水害想定）
3 月	誕生日会、クッキング、避難訓練（夜間地震想定）

3 市町村別入所者数（令和4年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	3	3	6
中 土 佐 町	1	1	2
仁 淀 川 町	0	1	1
合 計	4	5	9

4 年齢別入所者数（令和4年3月31日現在）

	男性	女性	合計
2 0 歳 ～ 2 9 歳	0	3	3
3 0 歳 ～ 3 9 歳	0	0	0
4 0 歳 ～ 4 9 歳	0	1	1
5 0 歳 ～ 5 9 歳	2	0	2
6 0 歳 ～ 6 4 歳	2	1	3
6 5 歳 以 上	0	0	0
合 計	4	5	9

	男性	女性
最 小 年 齢	5 1 歳 5 ヶ月	2 0 歳 0 ヶ月
最 高 年 齢	6 4 歳 1 ヶ月	6 3 歳 4 ヶ月
平 均	5 8 歳 8 ヶ月	3 3 歳 1 1 ヶ月
男 女 平 均	4 4 歳 1 1 ヶ月	

5 障害支援区分別利用実績集計表（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
非該当 (体験含む)	30	42	60	62	54	60	62	60	61	60	54	62	667
区分 1	58	31	30	31	31	30	31	30	31	31	21	12	367
区分 2	87	83	87	87	89	88	84	87	86	84	84	93	1,039
区分 3	87	83	86	86	73	69	88	86	81	79	83	93	994
区分 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
区分 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
区分 6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延人数	262	239	263	266	247	247	265	263	259	254	242	260	3,067

6 入院状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
整形外科	1	1	28
合計	1	1	28

7 外泊状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	実人員	延人数	延べ日数
4月	3	8	8
5月	4	12	20
6月	2	6	7
7月	3	9	13
8月	5	8	32
9月	3	4	23
10月	2	7	14
11月	2	7	7
12月	4	12	20
1月	5	12	25
2月	2	2	3
3月	0	0	0
合計	35	87	172

8 各委員会活動

委員会名	開催日	内容
権利擁護虐待防止委員会	4月8日 8月31日 2月8日	身体拘束の事案や研修内容の検討、チェックリストからの現状分析、及び虐待防止に向けた啓発活動の実施
感染対策委員会	5月20日 10月28日	感染対策の周知方法等についての検討、及び研修内容等についての確認
危機管理・防災対策委員会	7月22日 1月20日	事業継続計画（BCP）についての周知

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も四万十町役場健康福祉課や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んできた。

令和3年3月末現在、計画相談で受けている方は112名（児童4名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は6名である。2名の相談支援専門員が担当者を明確にしながらも連携し、計画相談だけでなく、日頃困っていることについての相談ごとについても対応している。また、自立支援協議会や個別支援会議、ケース共有会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行うことができた。

昨年度から徐々にではあるが、障害児相談支援の件数が増えてきていることから、障害児支援についても研修等を通じて、より知識を深める必要がある。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導

2 相談受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定一般相談	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
指定特定相談	23	19	20	35	18	23	22	24	19	20	19	15	257
障害児相談	1	1	1	2	0	0	3	2	2	2	1	4	20
四万十町相談	7	2	8	5	4	1	3	9	4	2	2	2	49

3 計画相談サービス利用状況

福祉サービス等	件数	合計件数
施設入所支援	59	233
生活介護	65	
短期入所支援	8	
療養介護	1	
共同生活援助	9	
居宅介護（家事援助）	2	
生活支援（地域活動支援センターとの連携）	10	
生活支援住宅	2	
意思疎通支援事業	2	
日常生活支援事業	3	
就労支援（就業・生活支援センターとの連携）	2	
就労定着支援	1	
就労継続支援A型	2	
就労継続支援B型	43	
その他（受診時同行支援・訪問看護等）	19	
保育所等訪問支援事業	4	
児童発達支援事業	1	

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

今年度も居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図り、通所介護計画書を作成し、ご利用者ご家族に説明し同意が得られた計画書に基づき個別対応の提供に努めている。

今年度は、月平均810名、年間利用延べ人数9,720名を目標に取り組みを行ってきた。5月には空き枠も埋まり、利用延べ人数も増えてきたが、要介護3以上になると施設入所を希望されるご家族様も多く、入所にての利用廃止となるご利用者が多かった。

2月には、ご利用者3名の新型コロナウイルス感染報告があり、新型コロナウイルス感染予防の為に、利用をお休みされるご利用者が増加した。よって、2月の1日利用平均が19.5名、利用延べ人数が562名と過去最低の利用状況となったことで収入減少となっている。3月からは、新型コロナウイルス感染で入院をされていたご利用者の方も退院され、全ご利用者の方が利用開始となっている。

8月より、生活支援員の早出勤務を新しく取り入れたことで業務改善につながった。10月には、インカムを導入し職員同士の情報伝達がスムーズに行えるようになり職員の負担が軽減されている。

新型コロナウイルス感染症予防対策にあたっては、継続して乗車前の検温の実施・アルコールでの手指消毒・マスクの着用の徹底を行っており、送迎時には換気も実施している。尚、新型コロナウイルス感染者が発生した際の濃厚接触者の把握を行う為、ご利用者の席の配置写真を記録として撮影している。職員は勤務時のマスクの着用・検温・施設内の換気と消毒・公用車の消毒・手洗いうがいの徹底を継続して行っている。

＜総合事業通所介護事業＞

支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、ゴムを使った体操や午後にも柔軟体操を取り入れ下肢筋力の低下予防に努めた。個々に園庭での歩行訓練も積極的に取り組んで行ってきた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。

自宅での転倒にて、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱいの状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月2日	お花見弁当
4月10日	園芸活動(かぼちゃ)
4月17日	園芸活動(きゅうり・オクラ)
5月10日～15日	母の日プレゼント週間
6月14日～19日	父の日プレゼント週間
8月12日	園芸収穫祭
9月20日～25日	敬老週間
12月24日	クリスマス会
12月25日	餅つき
12月28日～29日	忘年会
1月6日	新年会
2月3日	節分(豆まき)
2月16日	避難訓練(昼間火災想定) 新型コロナ陽性者発症の為中止
3月24日	避難訓練(昼間地震火災想定)

(2) 機能訓練とレクリエーション

今年度は、月間予定表を作成し、午前中のレクリエーションは、レク内容の偏りがないように参加ご利用の方が楽しめる提供を行った。また、毎月、壁画週間を取り入れ季節に沿った壁画をご利用者の意見をくみ取り実施した。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。園庭の散歩など季節の風景を見ながら気分転換を図る目的で歩行訓練をされるご利用者の方も見られた。百歳体操やゴムを使った体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動が行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和4年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0名	0名	0名
6 5 歳 ～ 6 9 歳	0名	1名	1名
7 0 歳 ～ 7 4 歳	0名	1名	1名
7 5 歳 ～ 7 9 歳	0名	1名	1名
8 0 歳 ～ 8 4 歳	7名	8名	15名
8 5 歳 ～ 8 9 歳	3名	13名	16名
9 0 歳 ～ 9 4 歳	8名	26名	34名
9 5 歳 ～ 9 9 歳	2名	14名	16名
1 0 0 歳 以 上	0名	1名	1名
合 計	20名	65名	85名

※ 最高齢は104歳の女性（要介護5）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和4年3月31日現在）	87歳	90歳	89歳
最 高 齢（令和4年3月31日現在）	96歳	104歳	

4 要介護別利用実績集計表（令和3年4月～令和4年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311
1 日 平 均 利 用 者 数	30.62	30.77	32.08	30.41	30.62	31.27	32.12	31.19	31.74	31.50	19.54	31.33	30.33
事 業 対 象	31	29	31	32	28	30	35	36	43	40	18	42	395
要 支 援 1	27	27	26	31	36	32	33	32	39	44	29	48	404
要 支 援 2	131	130	137	119	104	108	119	114	81	71	46	66	1,226
要 介 護 1	208	200	215	209	193	192	186	186	223	200	152	207	2,371
要 介 護 2	239	253	249	242	278	286	308	298	302	261	190	282	3,188
要 介 護 3	77	87	88	90	73	89	85	71	85	77	64	98	984
要 介 護 4	83	70	73	80	66	59	52	55	58	38	42	72	748
要 介 護 5	0	4	15	18	18	17	17	19	26	25	21	31	211
延べ利用者数	796	800	834	821	796	813	835	811	857	756	562	846	9,527

（令和2年度 延べ利用者数 9,303名）

5 各委員会活動

委員会	開催日	内容
権利擁護虐待防止委員会	5月7日	ご利用者の「人が人として尊厳をもって生きていくこと」を支援する為に、差別や虐待防止に向け意識を高めることを目的とする
感染対策委員会	5月18日	新型コロナウイルス感染症対策・インフルエンザ・ノロウイルス等食中毒への対応などについて理解と実践対応を行うことを目的とする
危機管理防止委員会	11月22日	地震・風水害・土砂災害への知識を学び、施設における危機管理防止対策の検討・見直し・実践研修の計画作成を目的とする。

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

新型コロナウイルス感染予防の徹底を図り、送迎時の検温や施設内の換気・消毒に心がけた。

昨年度に引き続き、月・火・木・土曜日が15名定員、水・金曜日が10名定員とし、ご利用者の受け入れを行ってきた。ご利用者の状況については、延べ利用人数は、昨年より89名増加し、収入は約280万円増収となった。人数の伸びは緩やかであるが、要介護度の高い利用者の割合が増え、利用日数を増やす方も多かったことが増収につながっている。独居の認知症高齢者も多く、服薬の確認や事業所での衣類の洗濯など、生活全般への支援が必要な場合もあり、今後もニーズは増加することが予測される。

隣接する保育所とは、距離をとっての交流を続けることができている。クッキングについても、感染対策を行った上で、月に1回以上、おやつや昼食をご利用者と一緒に作る機会を持った。

また、合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで危機意識も高まっている。

9月17日には台風による土砂災害で職員が出勤できず営業を中止した。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当(1回)
5月	母の日週間、クッキング（おやつ）1回
6月	父の日週間、クッキング（おやつ）1回
7月	クッキング（昼食）1回、クッキング（おやつ）1回
8月	クッキング（昼食）1回、クッキング（おやつ）2回
9月	クッキング（おやつ）1回
10月	クッキング（昼食）1回、クッキング（おやつ）1回、運営推進会議
11月	クッキング（おやつ）1回
12月	クッキング（おやつ）1回、クリスマス会、忘年会2回、もちつき
1月	新年会、クッキング（おやつ）1回
2月	クッキング（昼食）1回
3月	クッキング（おやつ）1回、運営推進会議（文書配布）

(その他)

- * 誕生日に写真つきカードをプレゼント
- * 母の日、父の日に記念品のプレゼント
- * 敬老の日に、写真付きリースをプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前にはスポーツレクを中心に、午後には脳トレプリントや塗り絵、壁画制作、手先を使う作業など、個人個人に合わせて提供した。夕方には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) 保育所との交流

- 5月22日 保育所運動会
- 5月25日 合同避難訓練・消火訓練
- 8月24日 保育園児と交流
- 10月26日 保育園児と交流
- 11月16日 合同避難訓練・消火訓練
- 12月27日 もちつき

(4) 小学校との交流

- 9月3日 福祉体験学習

(5) 地域との連携

- 6月9日 興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
- 10月26日 興津地区避難訓練実行委員会

3 年齢別登録者数集計表

令和4年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	0	0	0
6 5 歳 ~ 6 9 歳	0	1	1
7 0 歳 ~ 7 4 歳	0	0	0
7 5 歳 ~ 7 9 歳	0	4	4
8 0 歳 ~ 8 4 歳	1	2	3
8 5 歳 ~ 8 9 歳	1	7	8
9 0 歳 ~ 9 4 歳	0	6	6
9 5 歳 ~ 9 9 歳	0	2	2
1 0 0 歳 以 上	0	0	0
合 計	2	22	24

※ 最高齢は95歳の女性（要介護1、要介護2）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (令和3年3月31日現在)	85.6歳	87.6歳	87.4歳

4 要介護別利用実績集計表 (令和3年4月～令和年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	26	26	26	27	26	25	26	26	27	24	24	27	310
1日平均利用者数	9.5	10.04	8.96	8.89	9.46	9.96	9.27	9.04	8.33	10.46	10.71	11.15	9.63
事業対象者	12	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	32	34	32	31	37	26	21	17	16	10	8	12	276
要介護度1	99	101	95	93	88	93	92	88	91	116	120	132	1,208
要介護度2	53	51	51	66	67	85	92	93	83	99	100	112	952
要介護度3	39	47	49	50	54	45	36	37	35	26	28	7	453
要介護度4	12	14	6	0	0	0	0	0	0	0	1	20	53
要介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18
延べ利用者数	247	261	233	240	246	249	241	235	225	251	257	301	2,986

(令和2年度 延べ利用者数 2,897名)

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度は介護支援専門員を2名体制となり、新規計画件数も徐々に増え大幅な増収となった。介護度別では、要介護5は減り、要介護2・3は増加している。介護度が高くなるにつれ在宅生活は介護負担が増すため施設入所申請を希望する方が多く、要介護者、介護者ともに高齢化しており、在宅生活への不安が高まっている。介護者の介護負担軽減のための短期入所生活介護の利用希望も今まで以上に増しているが、どの事業所とも人材不足が深刻化しており、受け入れできない状態が長き、通所介護利用増となる傾向がみられた。また、コロナ感染予防対策として県外からの帰省時、各サービスへの利用制限も出るため帰省を控える家族も多くあり、電話や書面などで日頃の状態報告を行うことも多かった。転倒や持病の悪化などによる入院者は、直接的な面会ができないなど、多くの制限のため認知面の低下が著しくなっている。若年性の認知症や精神疾患を伴う利用者も増えており、市町村をはじめ、地域包括支援センター、病院など、関係機関との協働での取り組みも多くあった。今後、増々多様化していくケースにも対応できるよう、専門知識も習得強化の必要がある。

要支援者については、四万十町包括支援センターとの調整を行い、要介護者の支援計画につながるよう連携を強めている。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	22
要支援1	1	2	2	3	3	3	3	4	4	5	6	6	42
要支援2	11	11	12	13	12	12	12	11	11	10	9	9	133
要介護1	16	18	19	21	22	22	25	27	26	27	28	26	277
要介護2	10	10	10	11	19	20	23	23	23	25	30	28	232
要介護3	5	5	4	3	5	5	6	5	6	6	6	4	60
要介護4	1	2	3	3	2	1	4	3	3	3	3	7	35
要介護5	3	2	3	2	3	3	3	2	2	2	2	3	30
合計件数	50	53	55	58	68	68	78	76	76	79	85	84	831
新規利用	9	5	5	3	13	4	7	5	4	4	5	0	64

* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

[地域における公益的な取組]

今年度、地域における公益的な取組みとして以下の内容を実施してきた。

1 (地域に向けた活動)

○明成会地域サポート隊による活動の実施

・清掃活動

実施日	参加人数	内 容
7月25日	13	六反地駅・施設周辺の草刈り
8月6日	9名	”観光列車おもてなし”として菜の花活動(草刈り)
8月24日	1名	” ” 菜の花活動(除草剤)
9月15日	1名	” ” 菜の花活動(種まき)
10月24日	10名	六反地駅・施設周辺の草刈り

・月1回各宅老所へ出前講座(コロナ感染緊急事態宣言中は宅老所開催されず)

- ・替坂本宅老所 4回
- ・影野宅老所 3回
- ・六反地宅老所 6回
- ・仁井田宅老所 1回(11月～)

2 (地域の他機関とのネットワーク活動)

- ・高知県立大学・高知りハビリテーション専門職大学の実習の受入れと交流を通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施
- ・くぼかわスポーツクラブの高知県障害者スポーツ推進プロジェクトに参加
- ・町内の作業所と連携し、毎週木曜日に園内喫茶を実施

3 (福祉避難所の活用)

- ・災害時に備えた地域の防災意識の向上及びコミュニティづくりの一つとして、福祉避難所運営訓練(12月15日)を実施

4 (既存事業の利用料の減額・免除)

- ・介護保険事業(デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝)における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施

《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

1 法人研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	4月1～2日	新任職員 (1名)	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能を習得する。
経営理念・経営方針についての研修	6月20日	全職員	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、事例をもとにディスカッションの実施。
(第2回) 中堅職員研修	7月11、12日	中堅職員 19名 役職者9名	外部講師による中堅職員から指導職を対象に求められる知識と役割行動など福祉職場で仕事を進めて行く上での基礎的な考え方を学習：エイデル研究所
業務の標準化研修	8月30日 10月8、9日 12月12日	中堅職員 9名	業務の標準化の意味・意義を理解し、実際に手順書(仕事の流れ)を作成：エイデル研究所
	2月20日	全職員	業務の標準化の目的を理解するため講師からの説明と作成メンバーから新手順書についての説明。
人事評価者研修	5月6日 10月29日	第1次評価者 14名	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
事業継続計画(BCP)訓練(出前講座)	9月24日	全職員	南海トラフ地震対策について「小さな地域の大きな防災～災害にも強い地域づくり～」：さんすい防災研究所
人権学習会	11月15～21日	全職員	人権学習週間として福祉施設職員として人権と尊厳について理解を深めるため、ETV特集の視聴
福祉避難所運営訓練	12月15日	全職員 各関係機関他	福祉避難所開設・運営マニュアルに基づく福祉避難所の設置運営訓練を実施
法人研究発表会	3月3日	全職員	各事業所の取り組み内容についてお互いに発表し合うことで内発的なモチベーションアップにつなげることができた。

2 事業所研修

【 オイコニア 】

研修内容	開催日	内 容
夜間緊急対応と AED 使用方法	5月19日	AED の使用方法について理解すると共に、夜間の緊急対応の実践を行い、緊急時の対応と連携の強化を図る
BCP 訓練（感染）	6月16日	事業継続計画（BCP）に基づき、実践的訓練を行う
介護技術研修	7月21日	食事や水分補給介助を受ける体験を通して、ご利用者の気持ちの理解を深め、安心・安全の介助方法を身につける
精神障害とその対応 ～事例を通して～	8月18日	精神障害について、心理を理解して知識を活かし確かな技術で援助する支援を学ぶ
リスクマネジメント	9月15日	福祉施設におけるリスクマネジメントについて知識を身につけ、事故を回避するための視点を養い事故防止につなげると共に、日頃の記録の大切さや事故発生時の対応方法を学ぶ
感染症	12月1日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、集団感染防止に向けた意識付けを図る
リフレッシュ	1月19日	ゲームを4種類行い楽しむことで、日頃の業務から離れ、職員の心のリフレッシュを図る
虐待防止	3月16日	グループワークを通して障害者の人権や虐待について理解を深める

【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	内 容
経営理念について	6月17日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
災害時研修	4月22日 9月23日 12月23日	火災、地震、風水害土砂災害を想定した訓練を実施し、災害時にご利用者を安全に避難できるよう職員間の連携と強化を図る
リスクマネジメント	8月19日	リスクマネジメントについて知識を身につけ、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
感染症	11月25日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、集団感染防止にむけた意識づけを図る
虐待防止	2月24日	虐待について理解をし、虐待予防につなげる
相談支援の現状	3月24日	事業内容や現状について理解を図る

【デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	内 容
マニュアル研修	4月8日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。
人権権利擁護 虐待防止研修	5月10日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護 個人情報保護について理解をする
感染症研修	6月10日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策、新型コロナウイルス感染症対策について理解を深める。
ヒヤリ・ハット事故 事例検討	7月9日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
各種の制度研修	8月10日	介護保険制度について理解する
福祉避難所開設訓練	9月10日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（机上訓練）
介護技術研修	10月11日	腰痛予防に努め、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ
認知症ケア研修	11月10日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
災害時研修	12月8日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練）
食事支援研修	1月11日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
ヒヤリ・ハット事故 事例検討	2月8日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。

【デイサービスセンターさくら貝】

研修内容	開催日	内 容
認知症ケア研修	10月8日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
感染症研修	6月10日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策について理解を深める。
介護予防研修	8月10日	介護予防についての理解を深める。
事故予防研修	毎月実施	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
権利擁護研修	5月11日	プライバシーの保護、個人情報保護、身体拘束について理解を深め、ご利用者の権利を守るサービスを常に実践する。
災害時研修	9月10日	非常災害時の対応について協議し、職員の連携を深める。

風水害・土砂災害研修	12月7日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練）
利用者の食事形態	11月11日	食事形態と個々の嗜好、今後の改善点について協議する。
介護技術研修	1月11日	介護技術の基本動作について、実践研修を行う。
マニュアル見直し	3月10日	マニュアルの見直しを行い最新の内容に変更する。

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。インスタグラム、ツイッターを活用し、明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信に取り組んだ。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により面会が制限されており、ご利用者と家族が会う頻度が減少した。家族がご利用者の様子を知ることができるよう、広報誌に加え、誕生月に各家族へ写真入りのメッセージを送付した

[公益事業]

【配食サービス事業】

今年度も四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食の配食を行ってきた。

四万十町内の訪問介護事業所における人材不足や高齢者の料理・買い物に対するニーズの変化等により配食サービスの希望者は増加傾向が続き、4月以降、新規利用契約者数が約80名、1日平均食数が120食を超え、配食数が安定してきた。しかしながら、遠方の方や利用曜日の偏りもあり、利用制限が必要な場合もでてきている。

配食サービス事業の目的にもある「ご利用者の安否確認」については、新規契約時に事前に話し合い、個別に不在時の連絡体制を定めるようになったことで、これまで以上に配達時の安否確認が複雑になってきた。

また、配達数の増加にともない特に冬場の夕暮れ時の配達には、配り間違えないようより慎重に取り組んできた。夏場には衛生面から弁当箱をこまめに回収することも心掛け、配食日誌による安否確認と弁当箱の回収確認を徹底してきた。

月別配食集計表

	実績数				実利用者数		
	公費	自費	小計	1日平均	公費	自費	小計
4月	2,870	144	3,014	100.5	89	8	97
5月	3,119	147	3,266	105.4	94	6	100
6月	3,203	149	3,352	111.7	100	6	106
7月	3,371	149	3,520	113.5	103	6	109
8月	3,419	164	3,583	115.6	103	7	110
9月	3,356	217	3,573	119.1	104	10	114
10月	3,502	178	3,680	118.7	108	10	118
11月	3,340	158	3,498	116.6	108	8	116
12月	3,663	167	3,830	123.5	113	11	124
1月	3,458	147	3,605	116.3	112	9	121
2月	3,249	191	3,440	122.9	107	10	117
3月	3,633	221	3,854	124.3	108	10	118
合計	40,183	2,032	42,215	-	1,249	101	1,350
平均	3,349	169	3,518	115.7	104	8	112
前年度平均	2,758	172	2,930	96.0	85	7	92

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

今年度の平均利用率は98.1%と(昨年89.8%)とほぼ満室が続いている。昨年に引き続き、町内の不動産会社からの入居希望者の紹介による外部利用者の利用があるため、空室率を抑えることができている。

しかし、建物の老朽化に伴って発生する様々な修繕が必要になっているため、定期的に点検を行い、計画的に修繕を行っていく。

利用状況一覧表（令和3年4月～令和4年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職 員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
外 部	7	7	7	6	6	7	7	7	7	7	7	7	82
空 室	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2